

防災を通じた外国人に寄り添うまちづくり



防災ドリルブックを活用した 新たな地域のつながり



11月10日 **Tue** **13:30 - 16:00**

会場：大船渡市立三陸公民館

（大船渡市三陸町越喜来前田36-1）

「じしん」「ひなん」

たった3文字を聞き逃すだけで、大切な人の命を守る行動が遅れてしまうかもしれません。

非常時に外国人が適切な行動を取れるようにするため、岩手大学地域防災研究センターがアラスカ大学と共同で、自然災害の仕組みや発生直後の対応、避難時に必要な日本語を英語で学ぶことができるアプリを開発しました。アプリの活用方法を探り、災害時に誰一人取り残すことのないまちづくりについて考えます。



講義・演習「防災ドリルブックの活用方法と災害時の外国人支援」

講師：越谷 信 氏

岩手大学名誉教授 岩手大学地域防災研究センター 客員教授

岡田 真介 氏

岩手大学理工学部理工学科 准教授

イラスト及びロゴは岩手大学地域防災研究センターHP内「Disaster Preparedness Drill Book」より許可を得て引用

岩手県立生涯学習推進センター

☎ 0198-27-4555

定員：会場参集 20名

×切：11月4日(水)

申込QR

